

劇 リュープロレリン酢酸塩注射用キット 1.88mg 「NP」

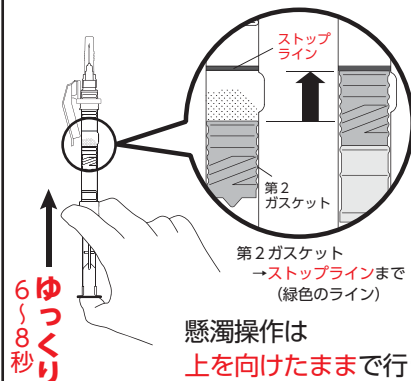
劇 リュープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75mg 「NP」

本品の調製中は、針キャップ側を上に向けてください。
プランジャーロッドの引き戻しは決して行わないでください。

使用方法

① シリンジを軽く指先ではじく キット内に粉末の塊を認める場合がありますので、シリンジを軽く指先ではじいて粉末をほぐします。

② プランジャーロッドを押し上げる

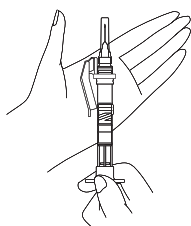


懸濁用液を移動させます。針キャップ側をまっすぐ上に向けプランジャーロッドをゆっくり押して(6~8秒)第2ガスケットの先端を緑色のストップラインまで動かしてください。

【注意】

- 針キャップを下に向けると、液漏れの原因となります。
- プランジャーロッドを急に押し込んだり、押しすぎてストップラインを越えると、注射針から液漏れしたり、又は粉末注射剤が分散しにくくなるので、避けてください。

③ 手のひらに軽く打ちつける

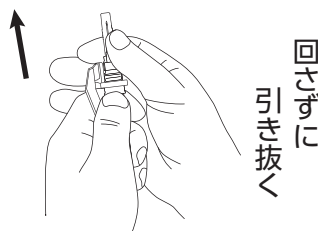


粉末を懸濁します。針キャップを上に向けたまま、手のひらに軽く打ちつけて、十分に懸濁してください。

【注意】

- 強い懸濁操作は泡立ちおよび注射針からの液漏れの原因になりますので、避けてください。
- 懸濁後は針キャップ側を高くて置いてください。

④ 針キャップをはずす



注射筒と針キャップの根元部を持ち、針先に十分注意して、針キャップを回さずまっすぐ引き抜いてください。

【注意】

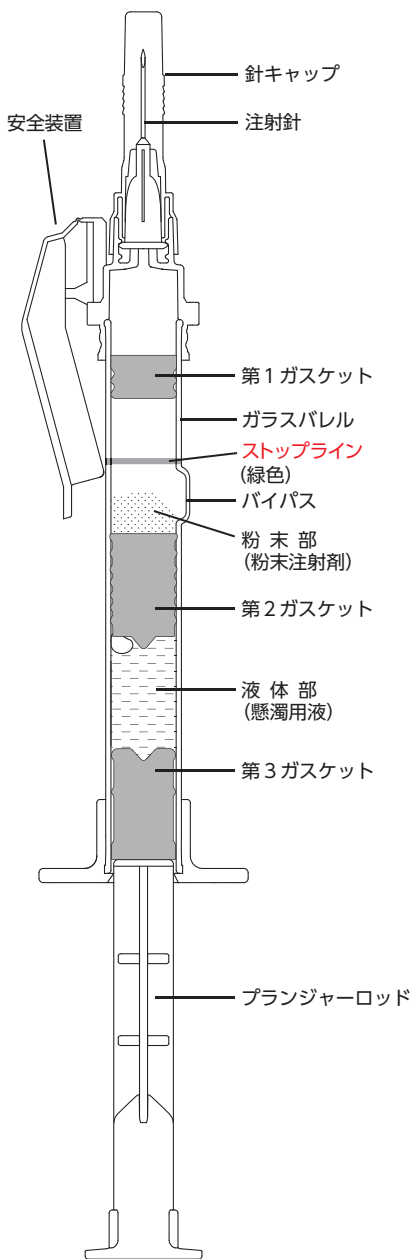
- 注射針を反時計回りに回すと、注射針の接合状態が緩み、液漏れの原因となりますので、避けてください。

⑤ 気泡を抜いて使用する

プランジャーロッドをゆっくり押し、気泡を抜いて直ちに使用してください。

【注意】

- プランジャーロッドが固く感じた場合でもプランジャーロッドから指を離さずにゆっくりと押し続けてください。



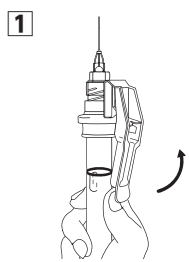
安全装置の使用方法

針刺し事故を防止するための装置です。

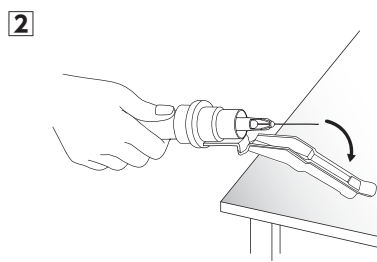
必ず投与終了後に使用してください。

注射後、針先が完全に隠れるように安全装置に収納ください。

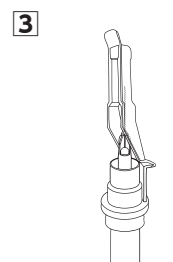
※「カチッ」と音がすれば完了です。



① 下から固定されている装置をはずす



② 固定された机などを利用し、収納する



③ 収納完了図

「予測される不具合と取扱い上の留意点」について、裏面をご覧ください。

予測される不具合と取扱い上の留意点

本品の使用時に予測される不具合と考えられる要因を示します。

以下の取扱い上の留意点に従い使用をお願いします。

(表面の「使用方法」に従って調製ください。)

操作	予測される不具合	考えられる要因	取扱い上の留意点
全操作中	シリンジ破損	落下等によるシリンジ本体への強い衝撃。	シリンジへの強い衝撃は避けてください。
	箱を開けたら安全装置が外れていた	取付時の組付けが不完全であった可能性がある。	安全装置が外れている製品は使用せず、弊社MRIにご連絡ください。
調製時 (懸濁用液移行操作、 懸濁操作、 エア抜き操作)	液漏れ	針キャップ側を上向き以外に向けて操作した。	本品の調製中は、針キャップ側を上に向けてください。
		強い懸濁操作。	強い懸濁操作は避けてください。
		プランジャーロッドを急に押し込んだ。	プランジャーロッドは6~8秒かけてゆっくり押し込んでください。
	第2ガスケットと第3ガスケットの間に液が残った	プランジャーロッドを押し込む際、ストップラインを越えた。	ストップラインを越えないようにしてください。
		プランジャーロッドを引き戻した。	プランジャーロッドの引き戻しは避けてください。
	プランジャーロッドが脱落した	プランジャーロッドを緩む方向へ回転させた。	プランジャーロッドは回転させないでください。
	針詰まり	針キャップ側を下に向けて操作した。	本品の調製中は、針キャップ側を上に向けてください。
	プランジャーロッドが押せない又は固い	懸濁操作不十分かつ液漏れを起こした。	十分に懸濁し、上記の液漏れの原因となる操作を避けてください。
	針キャップの脱落	針先から漏れた液によりキャップが密封されて空気が抜けにくくなった。	上記の液漏れの原因となる操作を避けてください。
	針の脱落	針キャップ(注射針)を反時計回りに回すことで、注射針の接合状態が緩み、その状態で、プランジャーロッドを押した。	針キャップを回さずまっすぐ引き抜いてください。
液の泡立ち	強い懸濁操作。	強い懸濁操作は避けてください。	
粉末注射剤が分散しにくい	液漏れにより懸濁用液が減ってしまった。	上記の液漏れの原因となる操作を避けてください。	
投与時	針曲がり	針キャップをまっすぐ引き抜かなかった。	針キャップはまっすぐ引き抜いてください。
	針詰まり	針先が皮下組織に強く接して塞がれた状態となった。	投与時に針穴を上向きにして皮膚面に対し、およそ30度~45度の角度で注射針を刺してください。
		懸濁操作が不十分だった。	懸濁操作は十分に行ってください。
	エア抜き不良	針詰まりが発生した。	針詰まりが発生しないよう注意して使用してください。
	プランジャーロッドが押せない又は固い	プランジャーロッドを引き戻した。	プランジャーロッドの引き戻しは避けてください。
	液漏れ	針キャップ(注射針)を反時計回りに回すことで、注射針の接合状態が緩んだ。針先から漏れた液によりキャップが密封されて空気が抜けにくくなった。	針キャップは回さずまっすぐ引き抜いてください。液漏れの原因となる操作を避けてください。
	針および針キャップの脱落	プランジャーロッドを引き戻した。	投与まで時間を置かず、直ちに使用してください。
	プランジャーロッドが戻ってしまう	プランジャーロッドを緩む方向へ回転させた。プランジャーロッドを引き戻した。	プランジャーロッドは回転させないでください。プランジャーロッドの引き戻しは避けてください。
エア抜きしたにもかかわらず再び気泡が入る			
投与終了後	針先が安全装置に収納できない又はしづらい	安全装置を斜め方向に装着しようとしている。	安全装置を動作方向にまっすぐ動かすようにしてください。
		安全装置を動かす力が足りない。	力が足りなくて針先が安全装置に収納できないことがありますので注意してください。収納する際は、「カチッ」と音がするまで操作してください。